

◆河川環境資料の活用の手引き

～河川環境情報図等の有効な活用手法～

2006年発行（198P）

編集：河川環境資料の活用に関する検討会

発行：財団法人リバーフロント整備センター

「河川水辺総括資料」、「河川環境検討シート」等の「河川環境資料」を活用した河道計画・施工・維持管理事例の収集・分析を行い、多自然川づくりに携わる国・都道府県の河川管理者や技術者の参考書として、有効な活用手法を取りまとめた図書です。

【目次】

第1部 基本編～河川環境資料の活用に向けて～

第1章 河川環境資料とは	1
1-1河川環境資料がなぜ作られるようになったのか	3
1-2作成される主な河川環境資料	5
1-3河川環境情報図を見るときにの注意点	7
1-4河川管理の各段階における河川環境資料の活用方向	9
第2章 河川環境資料の見方	11
2-1河川環境資料の構成	11
2-2『概要書』から把握すること	13
2-3『河道の変遷シート』から読みとること	15
2-4『河川区分検討シート』から読みとること	17
2-5『重要な種及び注目すべき生息地の整理結果』から読みとること	19
2-6『環境区分と生物の関連シート』から読みとること	23
コラム～環境区分は、なぜ大事？～	26
2-7『河川環境情報図』の構成	27
コラム～生物名が何も書かれていない区間図？～	35
コラム～参加と合意形成による“いい川づくり”～	37

第2部 事例編

第1章 河川環境資料作成編【松浦川水系 松浦川】	40
1-1概要書	43
1-2河道の変遷	45
1-3注目すべき生物種の抽出	47
1-4環境区分と生物の関連シート	51

1-5河川環境情報図	53
第2章 河川整備計画編	58
1.櫛田川水系 櫛田川	59
1-1活用事例の紹介のポイント	60
1-2河川環境の特徴の抽出	61
1-3河川整備の基本的な方針と具体事項の設定	64
1-4河道掘削に対する複数案の検討	67
2.斜里川水系 斜里川	76
2-1活用事例の紹介のポイント	77
2-2重要種・保全すべきハビタットの選定	78
2-3斜里川川づくりの基本的な考え方の設定	82
2-4選定した重要種・ハビタットの保全・復元の考え方	83
2-5具体的な保全・復元対策の検討	84
第3章 河道計画編【五ヶ瀬川水系 北川】	88
1-1活用事例の紹介のポイント	90
1-2河川環境の特徴の把握	91
1-3河川改修の基本方針の設定	95
1-4区間別改修計画の検討内容	99
1-5改修後河道の変動予測	113
第4章 施工編【信濃川水系 千曲川】	118
1-1活用事例の紹介のポイント	120
1-2現地状況の把握と配慮事項の検討	121
1-3施工中のモニタリング	125
1-4施工後のモニタリング	129
第5章 維持管理編【赤川水系 赤川】	134
1-1活用事例の紹介のポイント	136
1-2樹木群の現況評価	137
1-3配置計画の検討	147
1-4樹木伐採計画図等の作成	151

第 6 章 中小河川での工夫事例【紫川水系 紫川】	154
1-1活用事例の紹介のポイント	156
1-2河川環境の特徴	157
1-3沿川の状況（連続性・ネットワーク等）の把握	160
1-4有識者との現地踏査による確認（保全・復元すべき環境の把握）	161
1-5小嵐山拠点整備計画の策定	162
第3部 応用理解編	
第 1章 河川環境情報図（区間図）の構成と理解のポイント	169
1-1河川環境情報図（区間図）の構成を理解する（=環境区分+種+機能）	169
1-2河川環境資料を一步深く読むポイント	171
第 2章 河川環境情報図（区間図）を一步深く読む（事例より）	173
2-1環境区分が成立している要因を読む	173
2-2環境区分の機能を読む	175
2-3環境区分の組み合わせを読む	177
2-4洪水等の攪乱による環境区分の変動性を考える	179
第 3章 保全・復元すべき事項を整理する	181
コラム ～景観（景相）生態学の視点から河川環境情報図（区間図）を見る～	183
応用理解編 用語集	185